

* やってみたいこんなこと *

～おしっこの自立ができたら～

- ★ ペーパーでおしりを拭き、使用後は水を流すことができるように。
ペーパーは、必要な分を引っぱって切るようにしましょう。
- ★ 男の子は立っておしっこができるように。
まわりに飛ばさず、便器にするようにしましょう。
- ★ スポンやパンツを脱がずにおしっこができるように。
男の子は、はじめは膝までおろしておしっこをする。
次にお尻を出さないようにしてと、徐々にステップアップしていきましょう。



平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和 8年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課



とっておきの子育ての話

保育者からの
メッセージ



おむつをはずすために「しつける」「トレーニングする」というより、子どもが自分で「できるようになる」ために、大人が手を貸してあげることですよ。

こどもの成長に合わせて、一歩ずつ進んでいきましょう。

おむつから布パンツ へ

* 実際のステップ *

トイレに誘ってみましょう

- 「寝起き」「食事前後」「外遊び前後」などの切りのいいタイミングで。
- 「おしっこ行ってみようか」と優しく声をかけてみましょう。
- おしっこが出て、出なくても、座れたら褒めてあげましょう。
- こどもが「座ってみたい」と思うことが1番です。

布パンツで過ごしてみましょう

- 布パンツを使ってみましょう。
好きな柄のパンツを用意すると気持ちに乗るかもしれません。
- パンツにおしっこが出て、「濡れて気持ち悪いね」
「次はトイレに行ってみようね」と優しく
前向きな声掛けで。



成功と失敗をくりかえしながら

- 「おしっこ出たね」と喜びを共有し合えると、こどもは嬉しいですよ。
- シール貼りのごほうびも◎
- 「おもしろするのは当たり前」と思って、心に余裕をもってお付き合いできるといいですね。「おしっこは？」の声のかけ過ぎは逆効果。周りと比べて焦る必要なし！

* 誘っても 嫌がるのは どうして? *

* 今、遊んでる途中なの

お昼寝から目覚めた時、出かける前など
区切りのいい時に誘ってみましょう。

* トイレが怖い?

トイレの壁などに好きなキャラクターや
お気に入りのもので飾りつけてみるのも
いいですよ。



* 水の流れる音が怖いな?



「音がびっくりするよね」などと言葉を
かけて安心できるように。水を流す前に声を
かけたり、こどもに流すタイミングを選ん
でもらってもいいですね。

* 便器から中にお尻が落ちそうだから?

足台を置いたり、補助便座を
使うと体が安定しますよ。

